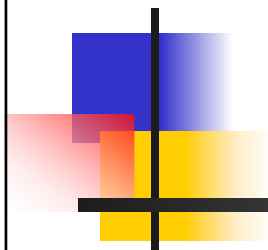


情報基礎A

(農学部学籍番号1081～)



南條・木村

第1回 オリエンテーション (1回)
履修カードは前の箱に入れて下さい

本日の内容

- 担当教官紹介
- イントロ なぜ情報基礎か
- 授業の目的と概要、学習の到達目標
- なぜUnix? パソコンは自分で
- 授業の予定と休講日
- 講義の進め方と成績評価
- テキスト
- システムへのログイン

担当教官

- 氏名： 木村和彦(大学院農学研究科)
- 略歴：
 - 昭和55年米沢興譲館高等学校卒業
 - 昭和59年東北大学農学部卒業
 - 昭和60年東北大学農学部教務職員
 - 平成 元年 // 助手
- 主な研究：
 - 微量・超微量元素の土壌-植物系での動態
 - 画像解析による根系の定量化
 - 画像解析による生育把握
- 計算機に関わる委員
 - 大型計算機センター地区利用協議会幹事
 - 農学部情報教育システム運営アドバイザー
- 連絡先： kimura@bios.tohoku.ac.jp

イントローなぜ情報基礎かー

- 溢れる情報から必要な情報を得る
- 情報通信技術 IT (Information Technology)
- コンピューターやネットワークが無くては生きていけない!?
 - メール
 - 研究のツール
 - 携帯電話
- 需要の伸びる分野⇒就職？

授業の目的と学習の到達目標

- 目的: 情報の処理、活用、倫理
 - 情報技術が広く多様に織り込まれた現代社会において、将来にわたってそれらと良好に付合うための基礎体力を養うことを目的としており、その過程で、大学生として文系・理系を問わず身につけておきたい基礎的な知識と技能を獲得する。原理的事項を土台に、情報処理・情報活用・情報倫理を3本の柱とし、**UNIX**システムを利用した実習本位の授業により学習する。
- 到達目標: アウトプットとネットワーク
 - 情報処理、情報活用の技能を駆使して、図表を含む説得力ある内容の学術文書を作成できるようになる。
 - ネットワーク化されたコンピュータ環境における個々の行為が引き起こす結果を想像できるようになる。

なぜUnix? パソコンは自分で

- OS:Windows, Macintosh, or Unix ?
 - Windowsが主流 but
 - 老舗のUnix ⇒ 詳細は次回以降
- PCは自分で覚えられる
 - 市販の本、知人、先輩...
 - センター内のパソコン(IDはUnixと共通)
 - センターで講習会を予定 (10/22,11/19,12/17)
- 情報基礎の復習コース
 - 知識の確認・整理などの目的(5, 6, 7月)

授業の予定と休講日

- 予定
 - 4/10 第1回 オリエンテーション (1回)
 - 4/17 第2回 システムの基本的使い方
 - 5/8 第3回 情報の原理的事項(情報システムの原理と構成、各要素の役割等) & C言語による初級プログラミング (1)
 - 5/15 第4回 C言語による初級プログラミング (2)
 - 5/22 第5回 C言語による初級プログラミング (3)
 - 5/29 第6回 数値データの可視化
 - 6/5 第7回 2次元描画
 - 6/12 第8回 LaTeX による文書作成(1)
 - 6/19 第9回 LaTeX による文書作成(2)
 - 7/3 第10回 総合演習(LaTeXによる小論文作成とHTMLへの変換)(1)
 - 7/10 第11回 総合演習(LaTeXによる小論文作成とHTMLへの変換)(2)
 - 7/17 第12回 情報倫理
- 休講 4/24(歓迎行事), 5/1, 6/26

講義の進め方と成績評価

- 講義の進め方
 - モットー: 楽しく覚えよう!
 - 説明 20% と 演習 80%
- 成績評価
 - 出席(30点)と提出したレポートの内容(70点)が基本
 - 出席: ログインで判断(不正があった場合はマイナス)
 - レポート: 随時あるいは最終回
 - 内容が既に理解できている場合は、インタビューだけでも可(相談すること)

テキスト

- 教科書

「東北大学情報シナジーセンター情報教育用計算機システム利用の手引 2002年版」(共立出版)

- 注意

- 2001年版でも可
- 必ず用意する。

システムへのログイン

- システムの概略
 - UnixとPCの違い
- ログイン、利用者初期登録
- パスワードの変更(できれば)
 - 不正利用の防止
 - 単語は駄目、数字との組み合わせ
- ログアウト